

令和四年度

高等学校入学者選抜学力検査問題

国語

注意事項

- 一 問題は、一ページから七ページまであります。
- 二 解答は、すべて解答用紙に記入しなさい。

— 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。(14点)



問二 次のア～エの中から、本文中の の中に補う言葉として、最も適切なものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 気をまぎらわす イ 心を合わせる
ウ 気を悪くする エ 心を痛める

問三 本文には、教室にいた「僕」が、傍線部1と感じたことが分かる一文がある。その一文の、最初の五字を抜き出さなさい。

問四 本文には、植木鉢が床に落ちて割れた場面があり、傍線部2のようになっている。本文中から、「僕」は、植木鉢が床に落ちていく時間を、どのように感じていたと読み取ることができるか。植木鉢の落下にかかった実際の時間を含めて、簡単に書きなさい。

問五 「僕」が、傍線部3のようになっていたのはなぜか。その理由を、本文中の②で示した部分から分かる、植木鉢が割れた原因に対する「僕」の認識と、「僕」が考える「僕」のとるべき行動を含めて、四十字程度で書きなさい。

問六 次のア～エの中から、「僕」が傍線部4のようになっていた理由として、最も適切なものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 「近くで見ていた女子」に、「ハセ」を突き飛ばしたことを先生に言われそうになったから。
イ 「ハセ」にむりやりノートを覗きこまれたことを、まだ許す気持ちにはなれなかったから。

ウ 「僕」にできないことを簡単にこなす「ハセ」の姿をずっと見てきて、「ハセ」に嫌われたくなかったから。

エ 「僕」に対して謝罪する「ハセ」の発言を聞き、「ハセ」の素直で悪意のない表情を見たから。

(小嶋陽太郎「ぼくのとなりにきみ」による。)

- (注) ① 性格の明るくない人。 ② 言いふらすこと。 ③ ためらうこと。

問一 二重傍線(=)部④、⑤の漢字に読みがなをつけ、⑥のひらがなを漢字に直しなさい。

二 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。(14点)



(五木寛之「生きるヒント」による)

(注) ① 日本の美術評論家である柳宗悦の言葉。

② 縛られて身動きの取れない状態。

問一 二重傍線(=)部②、③のひらがなを漢字に直し、④の漢字に読みがなをつけなさい。

問二 波線(〰)部ア～オの中には、品詞の分類からみて同じものがある。それは、どれとどれか。記号で答えなさい。

問三 傍線部1は、本文全体の中で、どのような働きをしているか。その説明として、最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 柳宗悦の言葉をそのまま引用することで、本文の展開に対する興味や関心を読者に持たせる働き。

イ 引用した柳宗悦の言葉を筆者自身が解釈することで、本文で述べたい内容を読者に提示する働き。

ウ 筆者の言葉を抽象的な表現で言い換えることで、本文の展開を読者に分かりやすく説明する働き。

エ 筆者の考え方を柳宗悦の言葉を用いて表現することで、柳宗悦の主張への疑問を読者に投げかける働き。

問四 次のア～エの中から、本文中の の中に補う語として、最も適切なものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア それとも イ もしくは ウ しかし エ なぜなら

問五 本文には、筆者の考える、ものごとに対するときの理想的な過程について述べた一文がある。その一文の、最初の五字を抜き出しなさい。

問六 筆者は、本文で、作品に対するときの危険性の一つとして、傍線部2について述べているが、傍線部2とは異なる危険性についても述べている。筆者が述べている、傍線部2とは異なる危険性を、五十字程度で書きなさい。

三 次の文章は、図書委員会の委員長が、昼の放送で連絡事項を伝達するためにまとめている原稿である。あなたは、図書委員会の委員長から原稿についての助言を頼まれた。この文章を読んで、あとの問いに答えなさい。(9点)

図書委員会では、図書室を快適に利用してもらうために、今年はその整頓や図書室の清掃を重点的に行っています。

このような努力が十分な結果として現れたためか、先月と先々月の図書室の来室者数の合計は、昨年度の同時期に比べて二割増加していました。

一方で、本の貸出冊数はそれほど増えてはいませんでした。貸出冊数が増えていない原因について、本を選ぶ際に、タイトルや表紙からだけでは本の面白さが伝わらず、読む本を選べないからではないかと図書委員会の顧問の先生は言っていました。図書委員会では、これを課題と考えています。

これまで、毎月一回のペースで作ってきた図書通信を通じて、本の紹介する活動を行ってきました。しかし、それだけでは、本の魅力が十分に伝えることができていなかったのではないかと考えました。そこで、新たな企画として、本の人気投票を実施したいと思います。

① 皆さんに投票してもらうため、図書委員が毎月、候補の本を数冊選びます。② その情報を参考にし、興味をもった本について、図書室に置いてある投票箱へ投票してもらいます。③ 皆さんの投票の結果は毎月、昇降口へ掲示します。④ 人気の出そうな本は、早めの貸出手続きをお勧めします。

問一 傍線部1を簡潔に表すために、慣用句を使った表現にしたい。傍線部1とほぼ同じ意味を表すように、次の()に適切な漢字一字を入れて、慣用句を使った表現を完成させなさい。

() を結んだ

問二 傍線部2を、「図書委員会の顧問の先生」に対する敬意を表す表現にしたい。傍線部2を、敬意を表す表現に改めなさい。

問三 傍線部3を、助詞だけを一語直すことによって、適切な表現にした。傍線部3の中の、直すべき助詞を含む一つの文節を、適切な形に直して書きなさい。

問四 本文中に、次の()の一文を補いたい。補うのに最も適切な箇所を、①、④の、いずれかの番号で答えなさい。

それらのあらすじやおすすめポイントなどを図書委員がまとめ、図書室の壁に掲示します。

問五 あなたは、原稿が企画の説明で終わっていると考え、原稿の最後に次の()の中の文を付け加えたほうがよいと委員長に提案した。

()の中の文が、本文で図書委員会が伝えたかった内容となるように、①、②の中に入る適切な言葉を考えて、十字以内で書きなさい。

図書委員会としては、この企画を通して、皆さんに、本の面白さや魅力を感じてもらい、① につなげたいと思いますので、ぜひ投票に来てください。

四 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。(7点)



(日夏繁高「兵家茶話」による。)

(注) ① 東常縁。室町時代の歌人で、美濃国郡上の領主。

② 「古今和歌集」の解釈の秘話を弟子に伝えること。東常縁が始めたとされる。

③ 室町時代の連歌師。④ 百人一首が、一枚に一首ずつ書かれた色紙。

⑤ 船頭。小舟を操ることを職業とする人。⑥ 金銭。

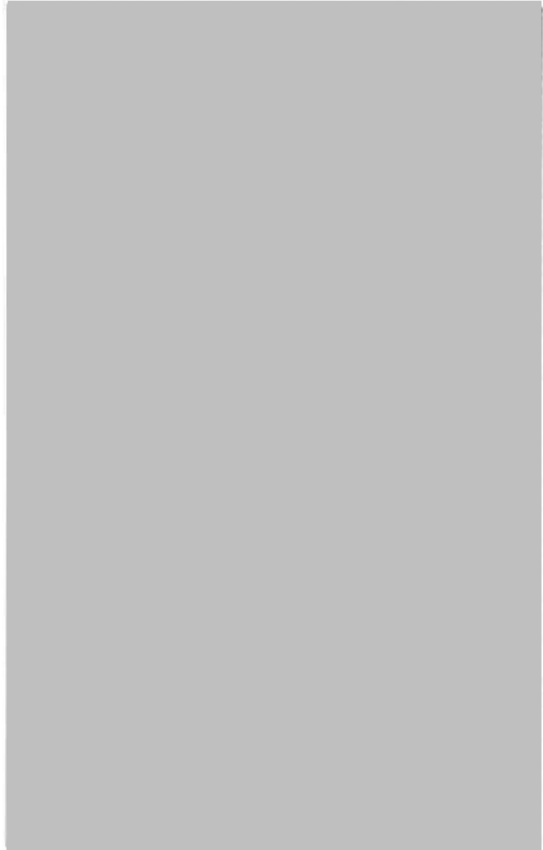
問一 二重傍線(〓)部を、現代かなづかいで書きなさい。

問二 波線(~~~~)部ア、イの中で、その主語に当たるものが他と異なるものを一つ選び、記号で答えなさい。

問三 宗祇が船頭(水主)に渡した天下の重宝である「小倉山の色紙」一枚には、どれくらいの価値があると、宗祇は船頭に伝えているか。宗祇が船頭に伝えている「小倉山の色紙」一枚の価値を、現代語で簡単に書きなさい。

問四 「小倉山の色紙」を傍線(——)部のように考えた宗祇は、どのような行動をとったか。「小倉山の色紙」を傍線(——)部のように考えた宗祇がとった行動を、宗祇が「小倉山の色紙」を一人だけで所有することでおこりうる問題を含めて、簡単に書きなさい。

マイクロプラスチックによる環境への影響



参考：『海洋プラスチックごみ問題の真実』
磯辺篤彦著 令和2年 化学同人 など

図

五

あなたのクラスでは、総合的な学習の時間の授業で環境問題について調べたことを、班ごとに発表することになった。あなたの班は、マイクロプラスチックによる環境への影響を調べ、調べた内容を図のようにまとめた。そして、調べた内容を他の班の生徒へ効果的に伝えるために、発表の際、図とともに、A、Bのポスターのどちらかを掲示することにした。

あなたなら、マイクロプラスチックによる環境への影響について調べた内容を他の班の生徒へ効果的に伝えるために、図とともに掲示するポスターとして、AとBのどちらがより適切と考えるか。AとBのどちらかを選び、それを選んだ理由を含めて、あなたの考えを書きなさい。ただし、次の条件1、2にしたがうこと。(6点)

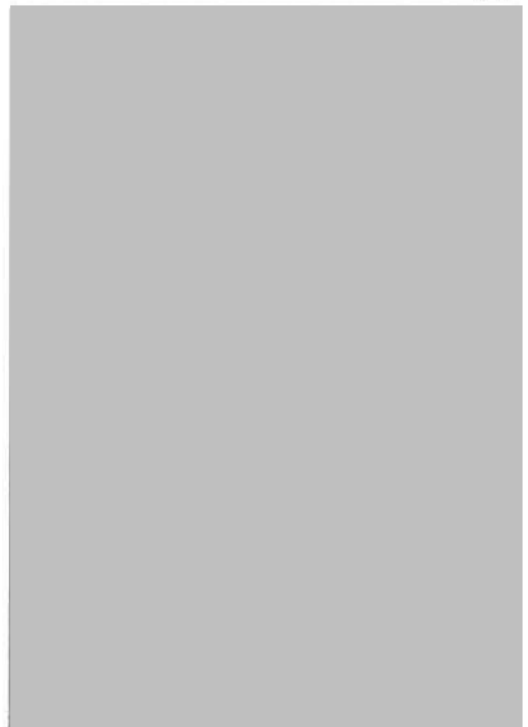
条件1 一マス目から書き始め、段落は設けないこと。

条件2 字数は、百五十字以上、百八十字以内とすること。

B



A



(令和二年度「こども教育支援財団 環境教育ポスター公募展」による。)

令和四年度 高等学校入学者選抜

作文問題

- 一 中学校生活で感動したこと
- 二 高校生活に期待すること
- 三 私の得意なこと
- 四 心に残る人
- 五 あいさつのよさについて

五	四				三				二							一						問題番号				
	問四	問三	問二	問一	問五	問四	問三	問二	問一	問六	問五	問四	問三	問二	問一			問六	問五	問四	問三		問二	問一		
															㊟	㊞	㊝							㊟	㊞	㊝
(略)	失つてしまうことがあるので、知り合いごとに一枚ずつ五十枚をすべて与えた。	船頭をやめても安心して生活できるくらいの金銭となる価値。	工	たま	貸出冊数の増加	2	本を	おっしゃって、言われて	実	自分が感じたことを絶対と信じ、その絶対的に安易によりかかることで、独断と偏見におちいつてしまう危険性。	実際にもの	ウ	イ	アとウ	いまし (めて)	豊 (かな)	予備	工	自分が悪いと認識し、ハセに謝らなければいけないが、謝ることができないでいたから。	(おそらく)一秒にも満たないくらい時間だが、永遠のように感じていた。	ノートに突	ア	遊 (んで)	のど	おくびよう	正答例

計	6	2	2	2	1	2	2	2	2	1	3	2	2	2	2	1	1	1	2	3	2	2	2	2	1	1	1	配点
	50	6	7			9					14							14						小計				
	適切な採点基準を設定すること。	同じ内容のことが書いてあればよい。	同じ内容のことが書いてあればよい。	*	*	同じ内容のことが書いてあればよい。	*	*	適切な敬語の表現になっていればよい。	*	同じ内容のことが書いてあればよい。	*	*	*	*	*	*	*	*	植木鉢が割れた原因についての「僕」の認識と、「僕」が考える「僕」のとるべき行動を含めて、適切に書いてあればよい。	同じ内容のことが書いてあればよい。	*	*	*	*	*	採点基準及び採点上の留意事項	

「配点」欄には、各問いの正答の場合の点数が示してある。「採点基準及び採点上の留意事項」の欄に*印が記されている問いを除き、部分点を与えてよい。部分点をどのように与えるかについては、各学校で決めること。